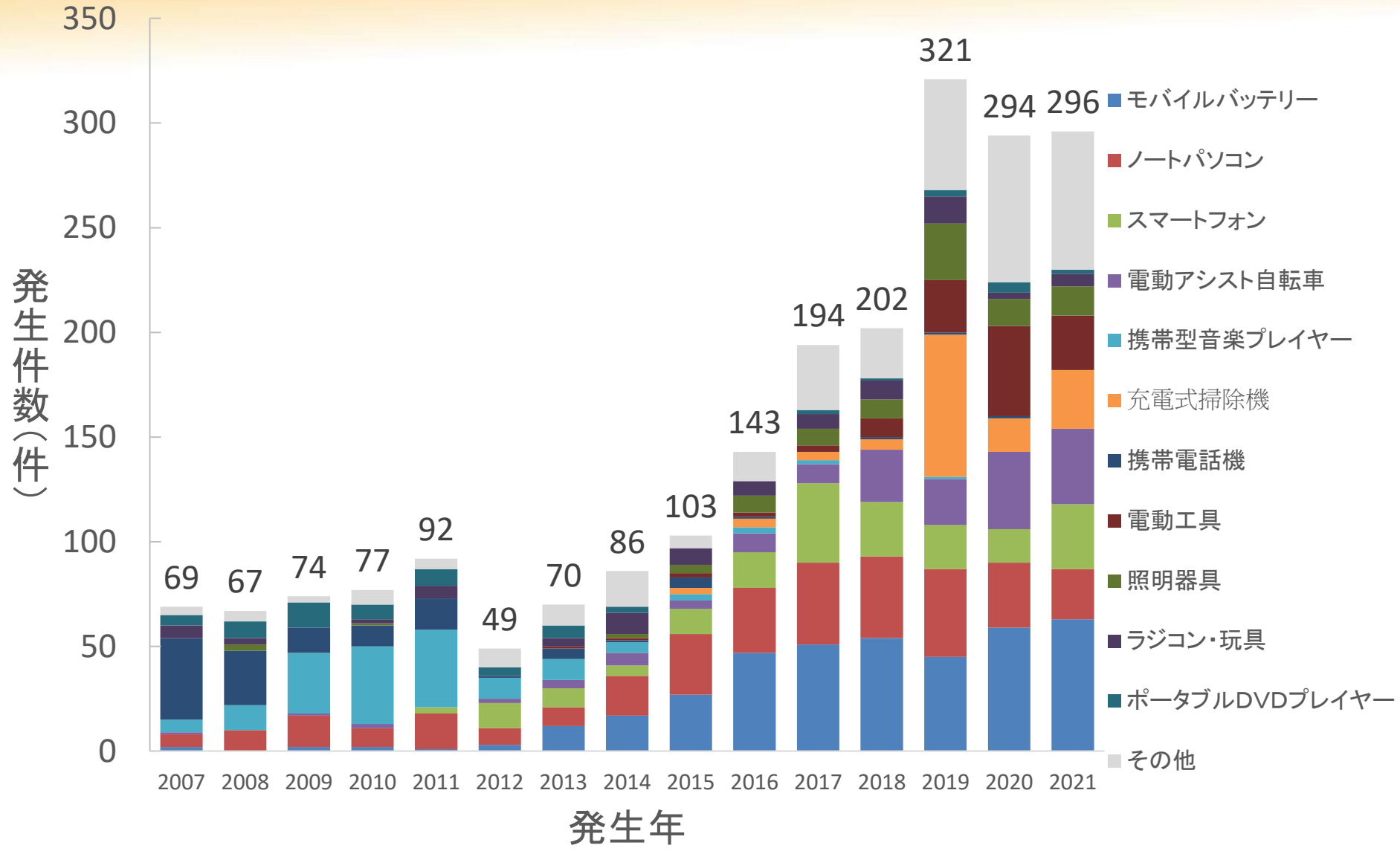


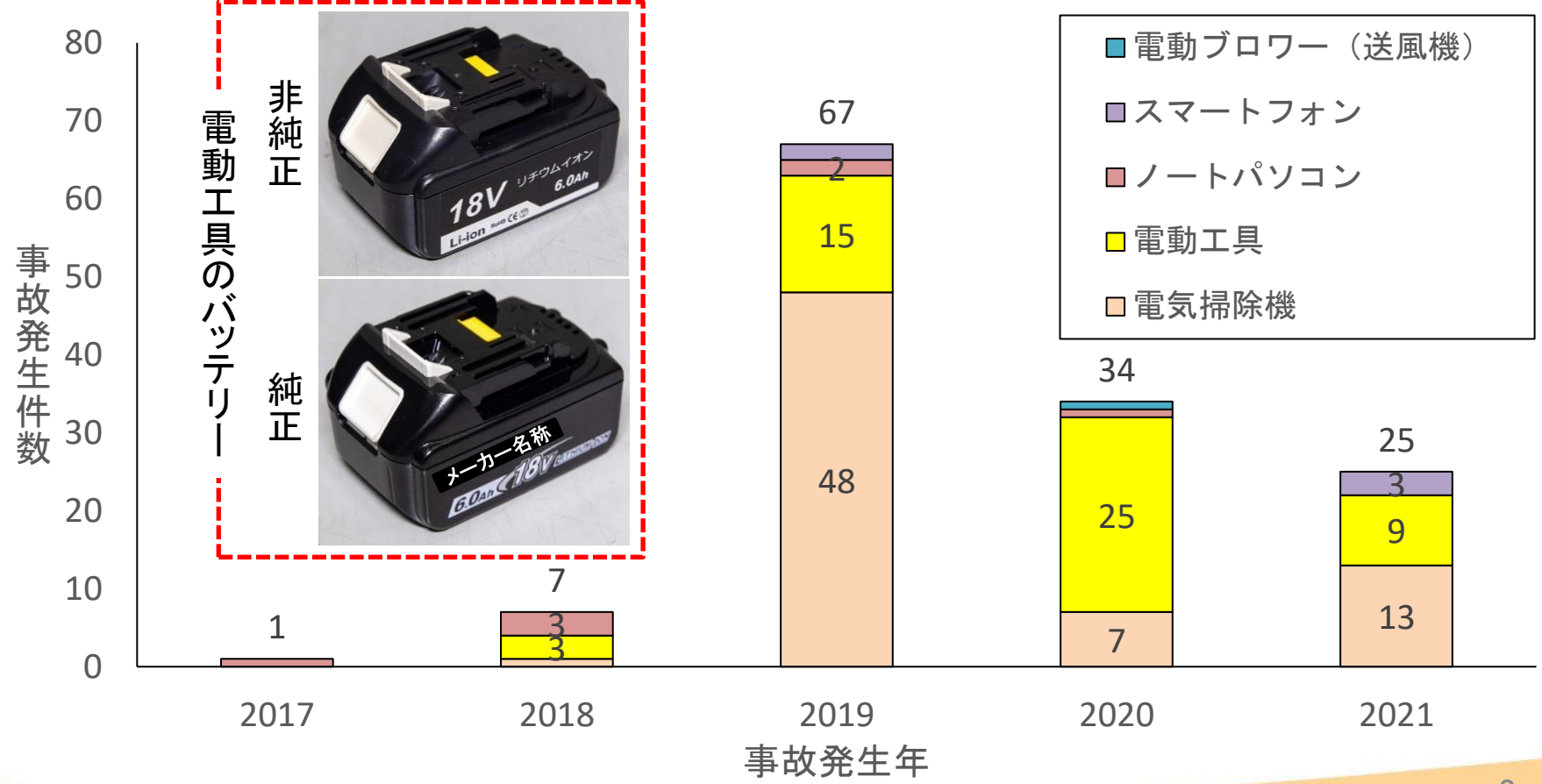
LIB搭載製品の発火懸念事故件数(2007～2021年)



2019年から事故件数は高止まりが続き、事故トレンドは5～6年で変化

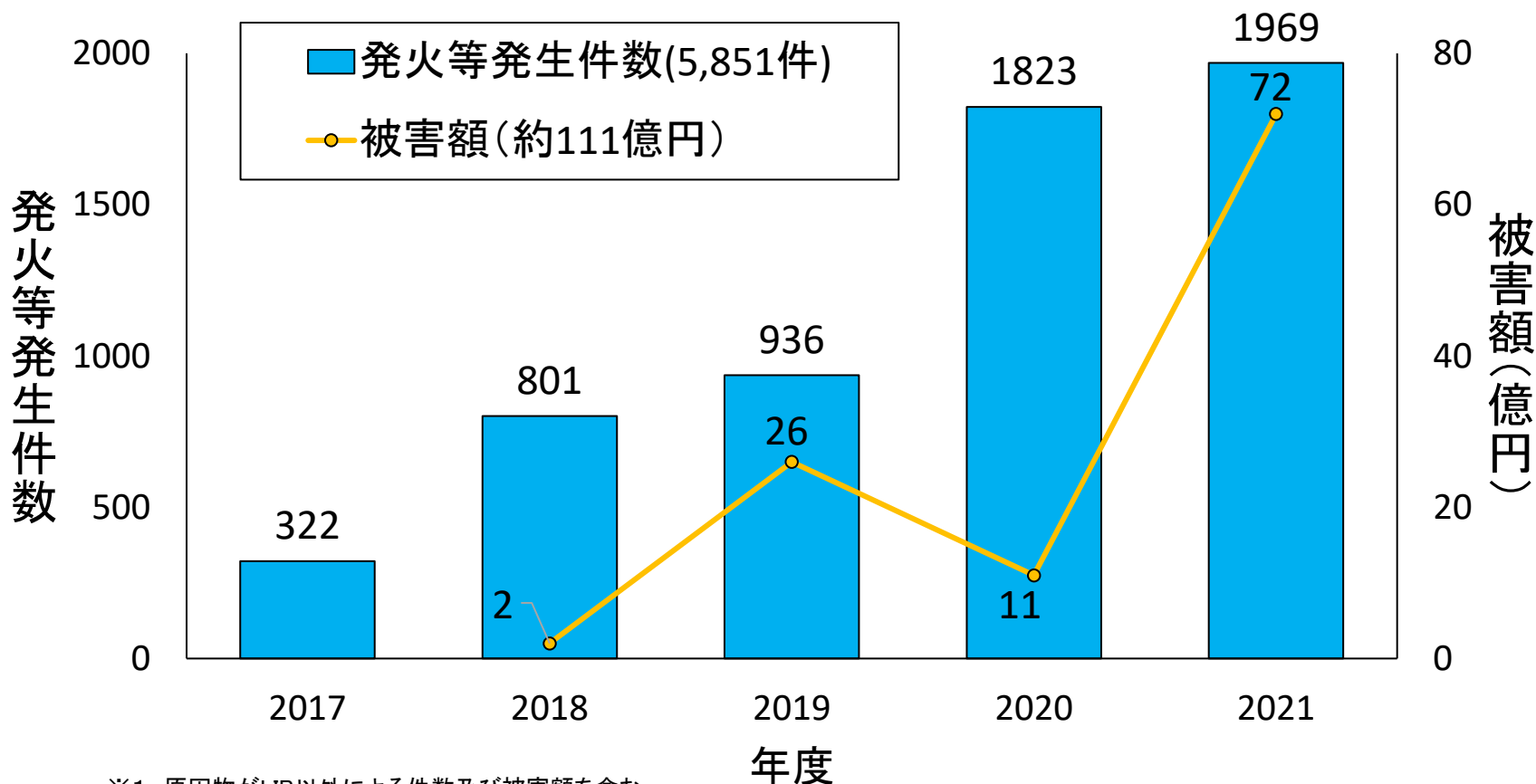
製品別非純正バッテリー事故発生件数(2017～2021年)

- **非純正バッテリーを使用中や充電中に事故が多発** (2017～2021年で134件)
- 非純正バッテリーの抱える主なリスクは以下の4つ
 - ①設計不良で異常発生時に安全保護装置が作動しない
 - ②品質管理が不十分な場合があり、普通に使っても事故に至る(保管中も・・・)
 - ③事故が発生した際、取り付けた機器のメーカーの対応や補償を受けられない
 - ④リサイクルルートが確立されていないなど、廃棄が困難



ごみ処理過程における発火等発生件数と被害額

- NITEが、インターネットでの報道や書籍の情報を元に収集した、ごみ処理過程における年度ごとの発火等発生件数※¹及び被害額を調査したところ、**発生件数、被害額ともに増加傾向**
- 環境省の報告書※^{2,3}に基づく、ごみ処理過程におけるLIB等の充電式電池が原因と疑われる火災等※⁴の発生件数も同様に増加しているが、全体の件数が非常に多く、NITEが収集した件数及び被害額は**氷山の一角**に過ぎない可能性



※¹ 原因物がLIB以外による件数及び被害額を含む

※² 環境省「令和2年度リチウムイオン電池等処理困難物適正処理対策検討業務結果(業務報告書等抜粋)」

※³ 環境省「令和3年度小型家電リサイクル法施行支援及びリチウムイオン電池等処理困難物適正処理対策検討業務報告書」

※⁴ 火花の発生、発煙も含む